

# 地域ぐるみで取り組むクマ出没抑制対策(岩手県北上市)

- 県(保健福祉環境センター、農林振興センター)が北上市と協力し、農業被害対策と人身被害対策の両面からモデル地区を選定の上、ニーズにあった取組を整理
- センサーカメラによる調査を実施し、河川敷がクマの出没拠点となっていることを把握
- 地域住民による環境整備活動や北上市が実施した河畔林の伐採により、出没の抑制効果を確認
- 地域内の児童を対象とした「クマ出前授業」や地域住民を対象とした勉強会を開催し、クマ防除対策を意識啓発

## 取組内容

- センサーカメラを設置し、出没経路を調査



- 河川敷の草刈りや河畔林の伐採による環境整備



- 地域住民対象の勉強会

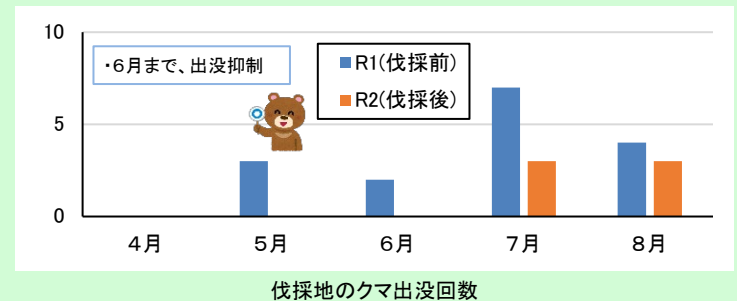


- 地域内児童対象の出前授業



## 成果

- 出没拠点での地域住民による草刈等の環境整備活動により、出没を抑制
- 市による河畔林の伐採により春先の出没を抑制



- 勉強会や環境整備活動により防除に対する地域住民の意識が向上

# 地域ぐるみで取り組むクマ出没抑制対策(岩手県北上市)

## きっかけ・背景

- クマの出没が増加傾向にあり、里山だけでなく、市街地まで広範囲に及んでおり、人身被害につながる可能性

## 課題

- 誘引物が特定できておらず、出没の実態が不明
- 関係者が多数かつ不特定で効果的な対策をとることが困難

## Step1 実態の把握

- 区長等へ事前ヒアリング  
→① 出没状況が分からず不安  
② 小学生にクマへの理解を深めさせたい  
③ 河畔林の環境を整備して欲しい
- 大学関係者と連携しセンサーカメラによる調査を実施  
→クマは河畔林に沿って移動することが判明

## Step2 防除対策・意識啓発

- 地域住民による草刈りや河畔林の伐採
- 児童への出前授業の開催
- 地域住民向け勉強会の開催
- 住民意識の調査(アンケートの実施)



## 取組の特色

- 農業被害対策と人身被害対策の両面から県と市が協力してモデル地域を選定
- 地域住民による環境整備活動等によるクマの出没抑制効果の地域内波及、地域住民の意識向上
- 児童へのクマの生態を学ぶ場を提供するとともに、児童の安全確保等地域住民の意識啓発

## 取組による成果・効果

- 出没拠点での地域住民による河川敷の草刈り等の環境整備活動により、短期間ではあるが出没が抑制される傾向があった。また、河畔林の伐採により、春先のクマの出没を抑制することが実証された。
- 勉強会などにより、防除対策に対する地域住民の意識が向上